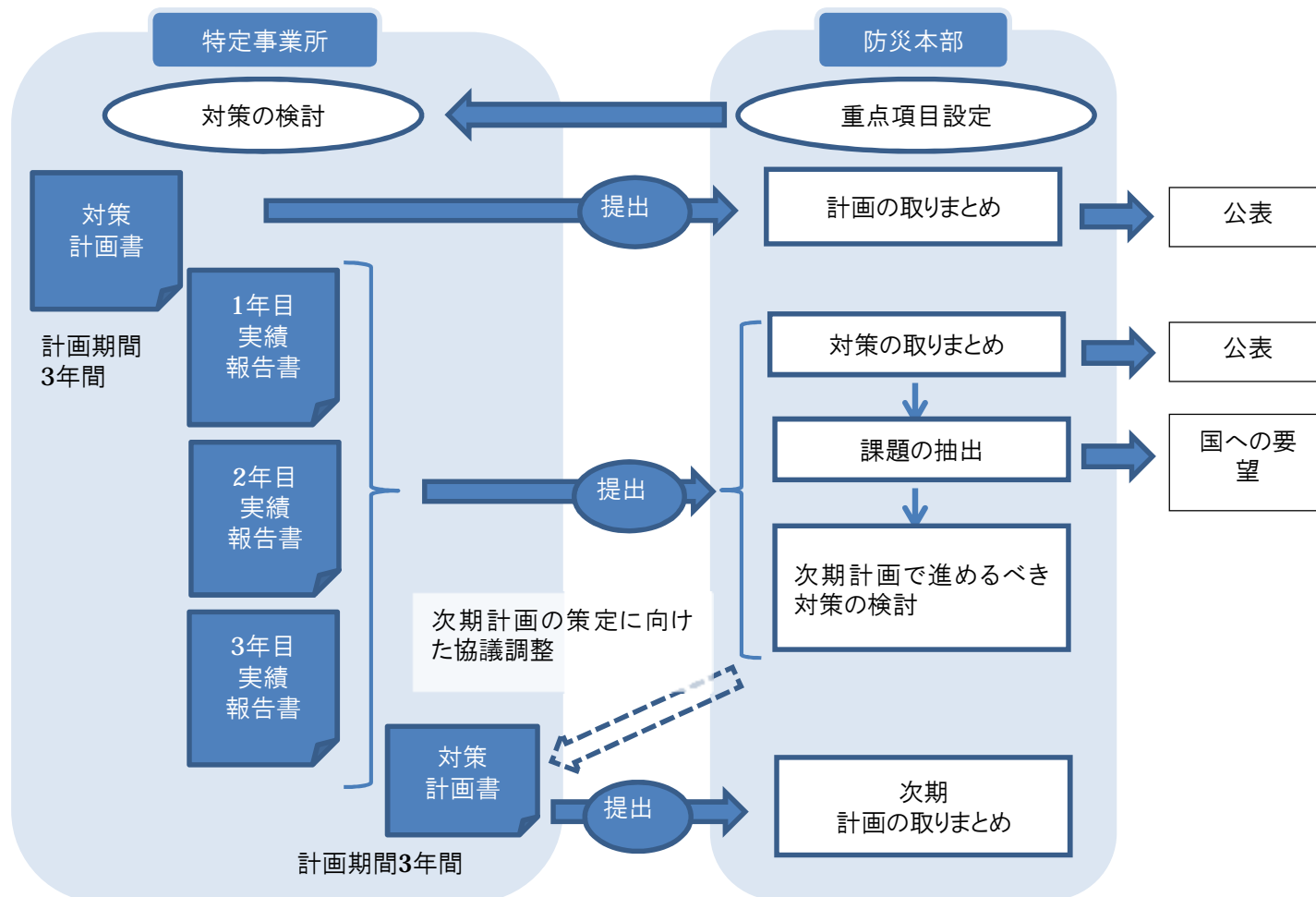


石油コンビナート等特別防災区域における 防災対策について

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

現在の防災計画の進行管理

- ①防災本部は、重点項目の設定について協議調整し、特定事業所は対策を検討
- ②特定事業所は、3か年の対策計画書を提出
- ③防災本部は、特定事業所の対策計画書を取りまとめ、公表
- ④以降、毎年、対策の実績報告書を提出、対策の進捗状況を把握し、その概要を公表



石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

第1期(H27~29)から第3期(R3~5)対策計画の重点項目と成果

	対策項目	第1期	第2期	第3期	第3期終了時見込
ハード対策	浮き屋根式タンクの耐震化	達成	継続なし		
	準特定タンクの耐震化	達成	継続なし		
	球形高圧ガスタンクの鋼管ブレースの耐震化	達成	継続なし		
	タンク配管への緊急遮断弁の設置 (許可容量：500kL以上)	引続き 取組む	引続き 取組む	→ 継続項目	未対策 5基 (計画有) (代替措置 60%)
	重要施設等の浸水対策		引続き 取組む	→ 継続項目	未対策 20% (長期)
	建物の地震・津波対策		一定の 成果あり	事例の 共有・活用	
ソフト対策	管理油高(下限値)の見直し(許可容量：500kL以上)	達成	継続なし		
	小規模タンクの漂流対策(許可容量：100~500kL)			新規項目	未対策なし (代替措置 15%)
	有害な化学物質の漏えいに備えた初動体制の整備			新規項目	対策完了見込み
	津波避難計画の見直し	引続き 取組む	引続き 取組む	→ 継続項目	未実施なし (一部見直し 30%)
	安全に係る企業活動の再点検		一定の 成果あり	事例の 共有・活用	
	BCPの策定・見直し(防災関連項目)		一定の 成果あり	事例の 共有・活用	
	L2(想定最大規模)の高潮に備えたソフト対策			新規項目	未実施なし (一部実施 30%)
	近隣事業所間の情報共有の強化		引続き 取組む	→ 継続項目	事例の共有・活用
	プラント保安におけるIoT・AIの利活用			新規項目	事例の共有・活用

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

第3期対策計画までの振り返り

第10回検討部会(R4.8)での意見

- 防災対策の進め方についての意見
 - 定点観測は必要 【1】
 - 計画ありきではなく、事業者の課題を抽出 【2】
- 府防災本部と事業所との関係
 - これまでのネットワークを活用した防災対策の継続 【2】
 - ネットワークの充実 【2】
- 訓練の充実
 - 訓練の種類、対象の多様化 【2】
 - 防災・減災対策の実効性を訓練で確認 【2】
- 情報発信・共有の強化
 - 全国的に、また住民にわかりやすく 【2】
 - 先進技術等の情報共有 【2】

事業所アンケート結果の概要

- これまでの重点項目の達成評価
 - 代替措置としてソフト対策を実施している項目を課題ありと評価している事業所あり。 【1】
 - 短期的に対応可能な対策は概ね実施できた。残った課題は、短期的な計画としてではなく、長期的な計画として位置付けられる課題 【2】
- 事業所が考える課題
 - 浸水対策や、L2高潮への対応など、これまでの重点項目を今後も課題と考える事業所あり。 【1】
 - 半数以上が訓練の充実が必要と回答 【2】

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

第3期対策計画までの振り返り

残っている課題

■より確実な対策への進展

○手動で弁を閉めるソフト対策から、緊急遮断弁の設置へ【1】

○津波予想時に注水するという対策から、常時の油高管理へ【1】

■新規参入事業者への対応【1】

■重要施設の浸水対策については、設備更新時や工場全体の将来構想といった長期的に実施されるものがある。【1】【2】

■代替措置の実効性の確認（訓練等で）【2】

検討部会意見、事業所アンケート、残っている課題を整理

【1】 未対策が残っている項目等の進捗把握は今後も必要。また、新規参入事業者にも同様に取組んでもらうことが必要

【2】 今後は、対策を実施したら達成となるハード対策の進捗管理だけでなく、これまで実施した対策を踏まえた訓練の実施や情報発信の強化等、継続的に取組み、改善をしていくソフト対策も推進していくことが必要

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

今後の防災対策の進め方

～さらなる計画の推進に向けて、アプローチを変える！！～

- 【1】 未対策が残っている項目等の進捗把握、新規参入事業者も取り組んでもらう仕組み
⇒ 「石油コンビナート地区における防災対策ガイドライン（仮称）」を策定（R5年度）

- 【2】 これまで実施した対策を踏まえた訓練の実施や情報発信の強化等、継続的に取り組み、改善をしていくソフト対策も推進するため進行管理方法を変更
⇒ OODAループの考えを取り入れた進行管理

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

今後の防災対策の進め方

～さらなる計画の推進に向けて、アプローチを変える！！～

【1】石油コンビナート地区における防災対策ガイドライン（仮称）

■1期～3期で取り組んできた防災・減災対策を恒久的なものとして位置付ける。

○年1回の進捗状況把握を継続し、事例共有等を通じて防災力の更なる向上を図る。

○新規参入の特定事業所も対象とする

■ガイドライン項目（案）

(1)災害予防対策

緊急遮断弁の設置・重要施設の浸水対策等

(2)発災時対策

有害な化学物質の漏えい等に備えた初動体制の整備等

(3)情報発信・地域交流

事故時の広報・連絡手段の整備等

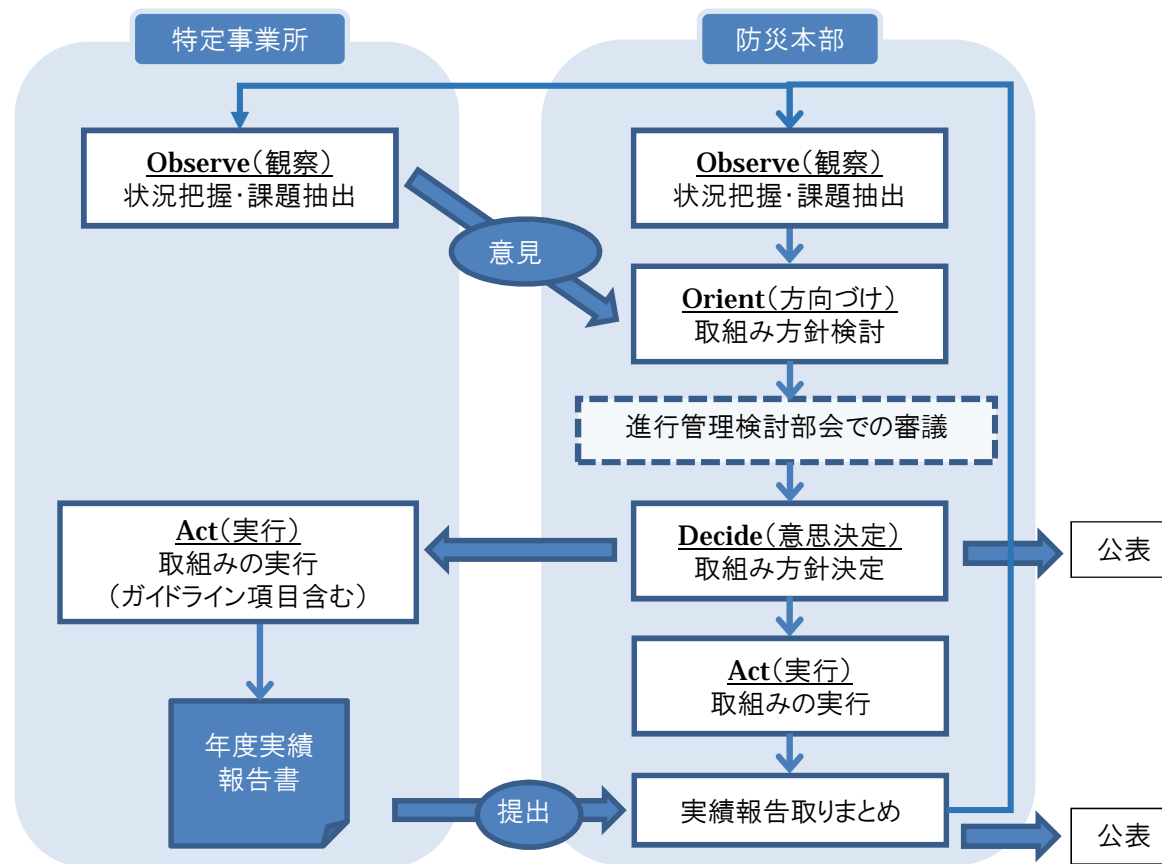
石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

今後の防災対策の進め方

～さらなる計画の推進に向けて、アプローチを変える！！～

【2】OODAループの考えを取り入れた進行管理(1/2)

- n 計画期間や重点項目を固定せずに、毎年行っている状況把握結果を基に、これまで実施した対策を踏まえた訓練の実施や情報発信の強化等、継続的に取組み、改善をしていくソフト対策も推進していくための進行管理方法に変更



石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

【2】OODAループの考えを取り入れた進行管理(2/2)

Observe（観察）＜防災本部・特定事業所＞

- 法令、施策、取組みの進捗、好事例などの状況把握と整理
 - 法令改正、行政施策、各業界の動向（AI、IoTの活用状況等）
 - 防災対策ガイドラインの進捗状況
 - 訓練等個々の取組み、好事例
 - 情報発信・情報流通の状況 など
- } 実績報告書

Orient（方向づける）＜防災本部＞

- 把握した現状をより良い結果に繋げるための取組み方針を検討
- 取組み項目の選定
 - ・訓練の充実（対策の実効性確認、高度化）
 - ・講演会の実施（情報、知識の習得機会を増やす）
 - ・防災コミュニケーションの推進（情報発信、地域交流など）
- 重点項目設定の要否
- 防災対策ガイドラインへの項目追加の検討

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

【2】OODAループの考えを取り入れた進行管理(2/2)

Decide（意思決定）＜防災本部＞

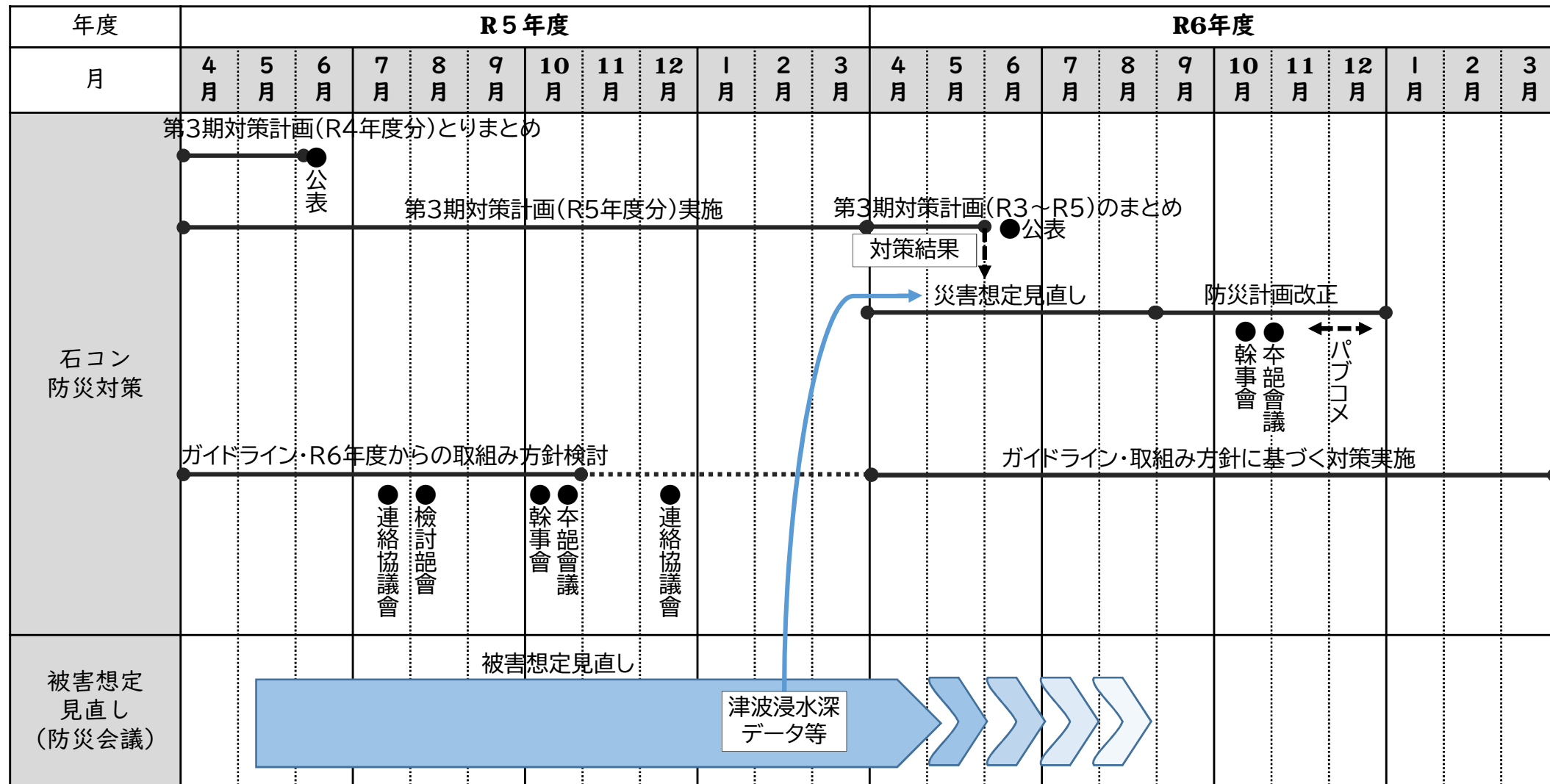
- 進行管理検討部会での審議を経て、防災本部と特定事業所の次年度以降の取組み方針を決定

Act（実行）＜防災本部・特定事業所＞

- 取組み方針に従い、取組みを実行する
- 特定事業所は、毎年実績報告書を防災本部に提出
- 防災本部は、実績報告書を取りまとめ、公表
- 好事例等の情報共有・拡散

石油コンビナート等特別防災区域における防災対策について

今後のスケジュールイメージ



第3期対策計画で実施された対策及び最新の津波浸水深等を反映した災害想定見直しを実施し、防災対策の進め方と併せて防災計画を改正する。